

# 競馬にみる日本文化

文化史

いしかわ はじめ  
石川 肇著

▼A5判・並製カバー・160頁・本体二、〇〇〇円十税

2020年10月刊行



舟橋聖一、菊池寛、井上靖、遠藤周作、吉川英治、吉屋信子、寺山修司などの馬主文士をはじめ、馬を愛した作家たち。樺太、平壤、大連、台湾など、今はなき戦時下の競馬場。馬と文学と吉田初三郎の美しい鳥瞰図で旅する、知られざる競馬文壇史。

## 【目次】

まえがき 競馬はギャンブルのみならず

### 第1章 競馬の文化手帖

舟橋聖一の愛馬命名と女たち

- 1 競馬場外物語 (菊池 寛)
- 2 馬の応援とご先祖様 (吉屋信子)
- 3 彼女に学ぶ競馬の歴史 (舟橋聖一)
- 4 馬産物語の誕生 (舟橋聖一)
- 5 大連競馬ミステリー (大庭武年)
- 6 スガタ牧場に見た夢 (富田常雄)
- 7 当て馬 (片岡鉄兵)
- 8 ユーモラスな馬人生 (北 杜夫)
- 9 芸術は爆発だ (岡本太郎)
- 10 ユリシイズの写真 (寺山修司)
- 11 馬と妖怪 (水木しげる)
- 12 火花とびちる競馬かな (井上 靖)
- 13 競馬の唄 (サトウハチロー)
- 14 根岸の今昔物語 (中里恒子)
- 15 トップ屋と競馬 (遠藤周作)
- 16 芥川賞と競馬 (大森光章)
- 17 戦前文士の競馬模様 (片岡鉄兵)
- 18 馬の絵 (中河與一)
- 19 馬のルポルタージュ (沢木耕太郎)
- 20 天才ノラウマなのだ (赤塚不二夫)
- 21 馬の天国と地獄 (賀川豊彦、織田作之助)
- 22 ケゴン書く舟橋(前編) (吉川英治、吉屋信子)
- 23 ケゴン書く舟橋(後編) (吉川英治、吉屋信子)

### 第2章 競馬場の地図絵巻

- 1 鳥瞰図と馬産地 (青森 八戸競馬場、佐藤春夫)
  - 2 馬嘶く赤城山 (群馬 高崎競馬場、志賀直哉)
  - 3 北朝鮮の競馬場 (北朝鮮 平壤競馬場、五木寛之)
  - 4 白鷺と馬のコラボレーション (兵庫 姫路競馬場、阿部知二)
  - 5 犀川のほとり (石川 金沢競馬場、室生犀星)
  - 6 馬肉と風林火山 (山梨 甲府競馬場、獅子文六)
  - 7 高知城下の馬ぞろえ (高知 榑橋競馬場、司馬遼太郎)
  - 8 旭川風物詩 (北海道 旭川競馬場、小熊秀雄)
  - 9 樺太の競馬場 (樺太 豊原競馬場、林芙美子)
  - 10 桜島とチャールストン (鹿児島 鹿児島競馬場、椋 鳩十)
  - 11 台湾の競馬場 (台湾 川端競馬場、龍 瑛宗)
  - 12 京の姿なき競馬場 (京都 長岡競馬場、吉田初三郎)
- あとがき 鼻差エッセイ裏話  
参考文献一覧

#### ◆著者略歴

一九七〇年生まれ。総合研究大学院大学文化科学研究科国際日本研究専攻単位取得退学。博士(学術)。現在、国際日本文化研究センター助教。和辻哲郎文化賞推薦委員、舟橋聖一記念文庫特別アドバイザー、東映大秦映画村アンバサダー。東アジア近代における大衆文化・文学・ツーリズムを研究対象とし、「舟橋聖一の愛馬命名と女たち」で第11回 Gallop エッセー大賞受賞(産経新聞社、二〇一五)。主な著書に『舟橋聖一の大東亜文学共栄圏——抵抗の文学』を問い直す『見洋書房、二〇一八』など。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
石川 肇著	法藏館
競馬にみる日本文化	本体二、〇〇〇円十税
ISBN:978-4-8318-6265-5 C1091	
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp